

「ツール・ド・おきなわ」参戦記

はじめまして、古市小学校1年生の河村 元（はじめ）です。ジージーが同窓会旭の会員なので、ボクが沖縄へ行った話をみなさまに聞いていただこうと思いました。まだ作文がうまく書けないのでボクの話を書きジージーに書いてもらいました。



11月24日と25日の2日間、沖縄本島北部の街、名護市を中心に繰り広げられた「ツール・ド・おきなわ」に参加しました。日本や台湾の各地から、大勢の人が参加する自転車レースの一大イベントです。名護市あげてのお祭りで、たくさんの企業や市民の皆様が応援してくださっています。大会の間中は競技参加者が7千人、その家族を入れると凡そ1万1千人の人々で大賑わい、沖縄県北部は自転車レース一色に染まる感じです。ボクはお父さんとお母さんがやっている「回転木馬」という自転車店のお客さんたちと一緒に連れて行ってもらいました。全部で25人もの人が、そろいのジャージを着て「チーム回転木馬」をつくれます。道路やホテル、飲食店も競技に参加する人たちやその家族たちであふれていました。

ボクが大会に連れてきてもらうのは三回目です。始めて来たときは台湾からの人が多いのにびっくりしました。でもお父さんから「沖縄は大阪から来るより台湾からの方が近いねんで」と聞いて、フーンそうかなと思いました。

チームの人たちは、いろいろなレースに出場しましたが、ボクはまだ小さいのでレースには出られません。そのかわり「ファミリーツーリング」にエントリーしました。時間は競わずに、一日かけて90キロを走ります。

お父さんやお母さんは「まだムリやからやめとけ」と言いましたが、去年、保育所の年長さんのときに50キロを完走したので、ボクは絶対走れる自信がありました。「ボクはやる！」と言って、出ました。いちばん速いときは時速38キロ、平均でも25キロくらいで走ります。絶好のお天気に恵まれて、ときどき真っ白な砂浜や青い海を見ながら、けんめいに走りましたが、途中でだいぶんしんどくなりました。やっぱりあかんかなあ、と思ったときに、ちょうどまい具合にお昼の休憩場所に着きまし



た。



おいしいご飯を食べ、アイスクリームを買ってもらったりするうちに、また元気モリモリになってきました。昼からのコースはアップダウンがあったり、風が少し出て

きたりして、ずいぶんしんどかったですけど、お父さんがついていてくれて、「ガンバレ ガンバレ」と言ってくれたので、とうとう最後まで走りきることができました。お父さんやお母さんが「ようがんばったね、えらかったね」とほめてくれたのがとても嬉しかったです。大阪へ帰ったらジーヤバーに思いっきり自慢しようと思いました。

平成24年12月3日 河村 元

